

令和元年度

# 決算を認定

令和元年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算については、それぞれ賛成多数で認定しました。同決算の認定にあたっては、市長による令和元年度決算総括、監査委員による監査報告の後、決算特別委員会（委員19人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。なお、本会議における討論の概要は下記のとおりです。

## 賛成討論

令和元年度の桐生市では、市長・市議会議員選挙が行われた年度であったため、当初予算においては、義務的経費および経常的経費を主体とした骨格予算として編成され、新規事業や政策に係る予算については、選挙終了後に肉付け予算を計上した年度であった。

桐生市の将来を見据えた「『共感』と『共創』のまちづくり」に向けて必要となる新規の事業が様々実施された。一方、財政状況については、実質収支額は21億7,959万2,273円の黒字となり、歳入歳出差し引き残額のうち、11億2,959万2,273円が財政調整基金に編入されている。

自主財源の比率は前年度に比べて2.0ポイント低くなり、その確保がたいへん厳しい状況下、限られた財源について将来を見据えた喫緊課題に対する諸施策に重点的に配分し、当局の皆様方の努力により、効率的な事業運営に取り組みられたことに、高い評価を表す。

「産業の振興」と「雇用の拡大」については、企業立地促進事業における武井西工業団地7区画7社の進出による、計画時における工事費は68億3,900万円、雇用人数は247名であったが、現在148名の地元雇用が図られたことが明らかとなった。桐生市における産業の発展、地域経済への波及効果とさらなる雇用創出が図られることを大いに期待するとともに、大きな成果であったと考えている。

「観光誘客」については、公民連携による「新たな観光まちづくり」の拠点施設として、令和2年3月16日に「桐生市観光情報センター（シクル桐生）」が開設された。施設内では、職員が常駐で観光案内を行い、これからの桐生市の「まちなかの賑わい創出」と「観光の発展」に寄与することと、これから一層の成果を上げていくことを期待する。

「消防団運転免許取得補助金」については、限定解除が分団長推薦のもと7名免許取得をされたとのこと。消防団車両の運用に必要となる団員確保のため不可欠な事業であると考え、引き続き円滑な消防活動の遂行及び機関員育成の観点からの支援を強く要望する。

「持続可能なまちづくりの実現」に向けて、「若者が夢を持ち、女性も輝き、そして誰もがこの街に『住み続けたいくなるまちづくり』」の実現に向けて、当局一丸となり、効率のかつ効果的な施策事業運営を強く要望する。

## 反対討論

昨年度の予算執行は統一地方選挙があり桐生市では市長選挙も行われた。そのため予算を審議した段階では新たな事業は展開せずに、行政運営に必要な予算や継続する必要がある事業に留まる骨格予算となり、

その後市長選挙を経て荒木新市長のもと補正予算で肉付けされる変則的な予算執行であった。その中で骨格予算としながらも、陸上競技場の建て替え、消防署東分署の移転などの建設費用が大きくなっていった。必要な整備であると思うが、今後庁舎建設も控えており、短期間に集中させたことに不安を感じる。今後の公共施設整備が過度に集中しないよう求める。

市民の収入は増えていない。しかし、食糧品をはじめとするモノの値段は高く、家計を圧迫している。そこに追い打ちをかけているのが重い税負担だ。国保税と介護保険料が負担になっている。決算では、国保基金は約21億円、介護保険給付準備基金は約13億円も貯めこまれている。この原資は市民からの税金である。今こそ基金を活用し、税の引き下げを行うべきである。

地域産業の振興は、地域の活性化のためにも重要な課題である。空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業が始まって令和元年度末で5年が経過した。その間に66件の利用があり、地域経済の活性化に一定の効果があつたと思う。この事業を継続すると同時に既存の店舗でも機材の入れ替えやリニューアルでも活用できるように拡充することも求める。

コロナ禍はまだまだ終息が見えない。市民の不安を解消するために検査体制の強化、地域の経済や家計を下支える施策を繰り返し実施するよう求める。

## 意見交換会

令和2年第3回定例会の議会報告会・意見交換会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催中止とさせていただきます。ご参加、ご来場のご検討いただきました皆様、ご承の程よろしくお願いたします。

## 議会報告会

## 議員による寄附や年賀状などは法律で禁止されています。

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆様のご理解をお願いします。

- ◎年賀状などのあいさつ状を出すこと。（答礼のための自筆によるものは除きます）
- ◎寄附をすること。
- ◎本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。



## 人事案件

市議会は、次の人事案件1件に同意しました。

教育委員会委員

松本昭彦氏（新任）